



変形地のため市販品キット
ガレージだと高くなるためお
小遣貯金で造るDIYガレ
ージに挑戦した松下さん。



ホームセンターで見つけた換気扇を使って排気ダクトを考案。安くできたが、パイプは経年変化するので時期をみて交換が必要だそうだ。

東名高速道路の大井松田インターチェンジ。インターチェンジからクルマで5分も走らない新興住宅地に、今回取材をさせていただいた松下智幸さんが建てたという造作ガレージがあった。もともと新築の住宅を建てたときに、母屋には自分の部屋はいらないがガレージはどうしても建てたいと奥様に懇願。玄関前の約10坪の変形地を将来はガレージを建てたいとスペースを開けておいた。ただし、予算はそれほどないうえ、変形地だったためキットガレージメーカーに見積もりを依頼したら450万円の全額の見積もりを受け取った。この金額ではガレージは建てられない。そこで考えたのがDIYで建てるガレージ。

キットガレージを購入してチャレンジする選択肢もあったが、予算オーバー。そこで仕事柄、建築現場に出入りすることが多い松下さんが考案したのが工事現場などで使用されている単管パイプ。単管パイプとは工事現場なので仮組みされているような足場のパイプのことで近所のホームセンターで材料が販売されているほか、クランプを使うことでジョイントできるもの。クランプも自在式と直行式の2種類があり目的に合わせて使いわけることで角度を変えることができる。近所の現場で屋根との結合部分の確認をしたり、地面との結合部分などを確認しながら1枚の紙にラフスケッチを描いてみた。悩んだのは効率よく材料を使うことで、無駄のない材料仕入れとなり約100mの材料を使用。

2008年9月に作業はスタート。住宅の施工業者についてガレージになる部分も生コンクリートを流してもらうことを依頼。ピットになる部分も依頼して深さ1m、幅1mのものを流してもらった。そして単管パ